

2022年4月1日

2022年度新入社員への社長訓示（要約）

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 野崎 明）は、本日、2022年度入社式を執り行い、49名が入社しました。野崎社長からの訓示の要旨は以下のとおりです。

当社を取り巻く環境と目指す姿

年初より国際情勢が大きく揺れ動いている。ロシアのウクライナ侵攻は世界に衝撃を与え、足下も悪化の一途をたどっている。当社はこの状況を深く憂慮し、この問題が早期かつ平和的解決に向かうことを心より願っている。

一方、新型コロナウイルスの影響により、私たちの生活は変化を余儀なくされた。このような状況で社会人生活をスタートすることに、不安を覚えている人もいるかもしれないが、置かれた環境は皆同じである。この変化をポジティブにとらえ、逞しく成長してくれることを期待している。

今年2月に2021年中期経営計画を発表した。テーマは「変革への新たな挑戦」である。我々を取り巻く事業環境は従来と比較にならないスピードで変化し、将来予測が極めて困難な時代に突入しており、カーボンニュートラルなど新たな経営課題にも直面している。これらの課題を真正面から捉え、デジタルトランスフォーメーションや人材育成等の経営基盤を強化しながら困難な課題に対応すべく、「変革」と「挑戦」を掲げた。皆さんにも自らを取巻く環境の変化を敏感に感じ、傍観するのではなく、この時代を自ら主体的にどう切り拓いていくのか、当社の経営や事業はどうあるべきなのかを深く考える努力を惜しまないようお願いしたい。

忘れてはならないこと

一方、世の中が変わっても変わらない、変わってはいけないものもある。1999年9月に起きた東海村のJCO臨界事故から昨年で22年になった。皆さんのほとんどが生まれたばかりの頃の出来事である。この事故の内容をよく知らない人もいるかもしれないが、当社に入社した以上、自分が入社する会社で起きた出来事としてしっかり見つめてほしい。我々は事故の反省と教訓を踏まえ「忘れてしまいたいことがある、しかし忘れてはならないことがある」を胸にこの20年間を駆け抜けてきた。この事故は当社経営のターニングポイントであり、事故の教訓は当社の経営判断の重要な基準となっている。環境が変化する中であっても、決して風化させてはならないものもあることを覚えておいてほしい。

新入社員へのメッセージ

(1) 現場に学ぶ

研修終了後は、皆さんの大半がものづくりの現場に配属される。そこでは事務系・技術系を問わず、現場にどっぷりと浸かり、仕事の基礎を確実に身につけることが肝要だ。言い換えれば、社会人としての素地を固めてほしい。ここが出発点となる。自らイメージしていたことと少し違うかもしれないが、その仕事は何事にも代えられない貴重な経験になることを肝に銘じていただきたい。

(2) 専門性を高める

皆さんに期待しているのは創造的な仕事であり、組織を牽引する役割だが、一足飛びにはいかない。会社は個の集合体であり、そのパフォーマンスを最大化するためには、一人ひとりが高い専門性を持つことが求められる。担当する職務、その分野において世界で通用する力量をつけていただきたい。我々の戦うフィールドは世界であり、世界屈指の企業や専門家達と伍していくには、互角以上の専門知識が不可欠であることは言うまでもない。そのためには、常に周囲の状況・情報収集を怠らず、自身の立ち位置を把握し、学び続けることを強く意識してほしい。我々は学び続ける人を常に支援する。

(3) コミュニケーションを大切にす

仕事は一人の力で完結するものではない。仲間とコミュニケーションをとって協力しあい、一つの目標に取り組むことで大きな成果を生み出す。コミュニケーションで最も大切なことは自らの考えを持つことである。自らの意見をもって、仲間と活発な議論をしてほしい。同時に、仕事で関わる「人」と誠実に向き合い、信頼関係を築くことはとても大切である。できるだけ対面でのコミュニケーション機会を心がけ、対面だからこそ生まれる人間関係も大切にしていきたい。

現状維持は退歩と同じで、組織も衰退する。現状に甘んじることなく正しい危機感を持たなければ、いずれ致命的な問題に直面する。当社は430年に及ぶ長い歴史のなかで、幾度となく存亡の危機に見舞われてきたが、そのたびに先人たちの知恵と努力で乗り切り、発展を成し遂げてきた。一つの時代も変化への対応は重要だが、世界の潮流を予測することは簡単ではない。これから世界が、そして当社が直面する課題は、これまで経験したことのない、複雑に入り組んだ課題である。だからこそ若い皆さんの柔軟かつフレッシュな発想や行動力が必要であり、大いに期待している。ともに手を携えて頑張っていこう。新たなチャレンジに向けて、自由闊達に意見をぶつけ合い、存分にその力を発揮してほしい。

以上

本件に関するお問合せ先

住友金属鉱山株式会社 広報IR部 東京都港区新橋 5-11-3 新橋住友ビル

TEL : 03-3436-7705 Eメール : smm_koho@smm-g.com